

2008 年度

科目名 <p style="text-align: center;">文献講読 I</p>	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 <p style="text-align: center;">梯 信暁</p>
授業テーマ 仏教漢文の解説方法		
授業の概要と目標 日本撰述の漢文文献を解説するために必要な基礎知識の習得をめざします。今年度は、平安時代を代表する名著であり、仏教思想のみならず、文学・美術・芸能等諸方面に大きな影響を及ぼした源信の『往生要集』をとりあげ、いくつかの項目を抜粋して講読します。活字本をテキストとしますが、写本・版本などの紹介も適宜行う予定です。また、『往生要集』テキスト・書き下し文・現代語訳のデータ化をめざし、受講生にはコンピュータを用いて課題に取り組んでもらいます。		
評価方法 授業中の発表 (80%)・出席状況 (20%)		
テキスト 原典資料をプリントして配布します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義の目標と内容の概説 2. 『往生要集』諸本の紹介 3. 叡山浄土教における『往生要集』の位置 4. 『往生要集』の概要 5. 『往生要集』講読①：序文 6. 『往生要集』講読②：助念方法 1・方処供具 7. 『往生要集』講読③：助念方法 2・修行相貌 1 8. 『往生要集』講読④：助念方法 3・修行相貌 2 9. 『往生要集』講読⑤：助念方法 4・修行相貌 3 10. 『往生要集』講読⑥：助念方法 5・退治懈怠 1 11. 『往生要集』講読⑦：助念方法 6・退治懈怠 2 12. 『往生要集』講読⑧：助念方法 7・退治懈怠 3 13. 『往生要集』講読⑨：助念方法 8・退治懈怠 4 14. 『往生要集』講読⑩：助念方法 9・退治懈怠 5 15. まとめ 		